

9 月 15 日に行いましたプランクトン調査（播磨灘：臨時調査）の結果についてお知らせします。

【概況】

- ・シャットネラ・オバータが低密度ながら確認されました。
- ・小型珪藻類は低密度でした。

表：2023 年 9 月 15 日 有害プランクトン調査結果（海水 1 ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・ アンティカ	シャットネラ・ マリーナ	シャットネラ・ オバータ	シャットネラ 3 種合計値	カレニア・ ミキモイ	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	シュードシャットネ ラ・ベルキュローサ	シャットネラ・ グロボーサ
K4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0.7	0.7	0	0	0	0
K5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0.3	0.3	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0

\* 細胞密度は、3 回計数した平均値を記載しています（ただし、シャットネラ・グロボーサについては計数 1 回です）。

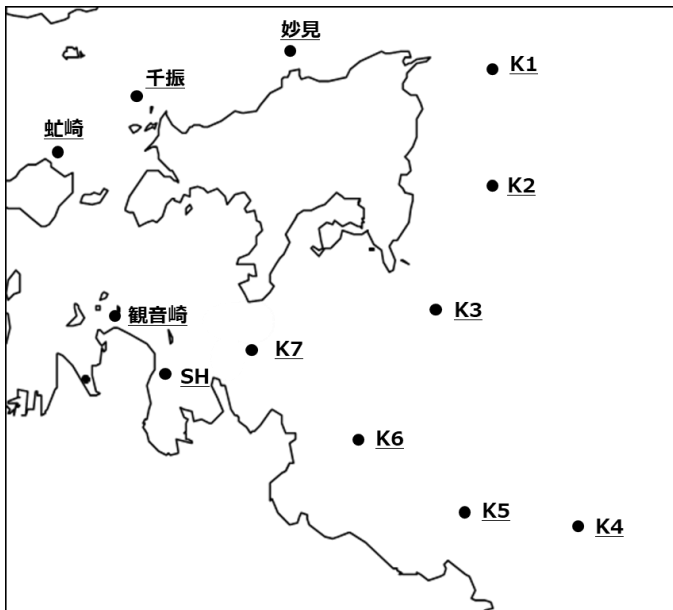
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所（担当：小川・松下） 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ（担当：和田） 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：赤潮対策技術開発試験事業）



\* 夏季の有害プランクトン調査は、通常は 7 定点(K1~7)で行っています。

有害種の発生が見られる場合には、5 定点(虻崎、千振、妙見、SH、観音崎)を追加しています(臨時調査定点)。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL